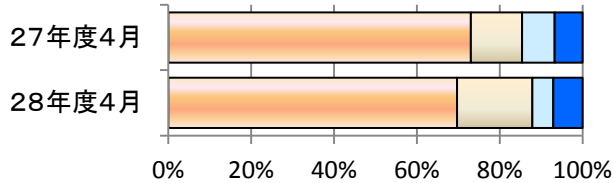
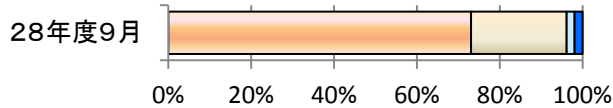


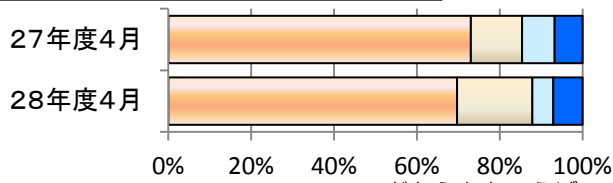
自分にはよいところがあると思う



よいところを見つけることは大切だと思う



将来の夢や目標を持っている



■ 当てはまる
□ どちらかといえば 当てはまる
□ どちらかといえば 当てはまらない
■ 当てはまらない

「自分や友だちのよいところを見つけよう」は、昨年度から本校の重点目標であり、集会や一日の振り返りの項目などで、日常的に取り上げてきた。昨年、今年と4月に調査した結果から、「自分にはよいところがある」と思える児童が増えていると感じた。そこで、今年さらに「よいところを見つける」ことについて、子ども達の意識がどのようになっていくかをさらに9月に調べてみた。その結果、4月に調査したときよりも自己肯定感を持つことの大切さを感じている児童が増えてきていると捉えることができる。このことは、教師や子ども達の中に、子ども達一人一人のよさを見つけようという意識が高まり、互いを認め合おうという気持ちを持ってきていることの表れだと考えられる。

「将来の夢や目標を持っている」では、昨年度からキャリア教育を視点に取り組んできた結果として夢や目標を持っている児童が増えてきたと考えられる。

成果

- ☆ 明確な目的をもって、グループでの話し合い、ペアでの話し合いを授業の中で取り入れることで、道徳的判断力を育むような話し合い活動ができるようになってきている。
- ☆ 今年度は、全校で道徳ノートや振り返りシート作成に取り組み、授業の足跡を残すことができ、教師も子ども達の様子を見取る手がかりとすることができた。
- ☆ 道徳授業を公開し、学校便りを通して、学校の取組を発信することで、授業についての感想や子ども達の様子についての声が届くなど、保護者や地域の方々の意識も高まってきている。
- ☆ 昨年に引き続き、中心発問や効果的な指導方法の工夫について研修してきた。これまでの授業の中で、子ども達が価値について明確な話し合い活動ができるようになってきた。
- ☆ 教室に道徳の授業に関する掲示をすることで、それまでの学習や自分自身を適宜振り返り、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりできるようにした。

今後に向けて

- ★ 資料によっては様々な道徳的価値を内包されている。常に様々な考えられる道徳的価値を捉えて、ねらいに迫る授業展開を考えていく必要がある。
- ★ 道徳ノートや振り返りシートが自分の変容を見つめる機会となるような評価につながってきたが、「特別の教科道徳」としての評価を行っていくために、内容や評価項目などをさらに吟味していかなければならない。
- ★ 今後も、家庭や地域と連携し、ともに子ども達の豊かな心を育むための道徳教育を推進していく。